

◆事業方針

「板橋区教育ビジョン2025」及び「いたばし学び支援プラン2018」の重点施策「地域による学び支援の活動促進」に位置付けられており、学校支援地域本部（地域学校協働本部）を平成30年度中に区内全73校（小学校51校、中学校22校）で実施する計画となっている。



◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫を等含む）

学校支援地域本部を小学校49校、中学校13校で実施、各校で地域コーディネーター1～5名を選任、29年11月現在のコーディネーター延べ人数は189人

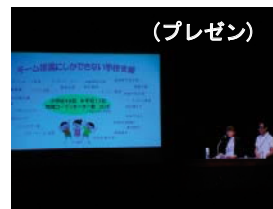
◆運営委員会【本部連絡会（11月16日開催）】

- ・内容：平成29年度活動状況及び30年度事業計画についての協議のほか、開始初年度となる「中高生勉強会事業（地域未来塾）」の実施状況についても話し合われた。
- ・委員構成：地域住民の代表者、社会教育関係者、PTA代表者、ボランティアセンター代表、区立学校長、実施校地域コーディネーター等18名で構成。うち4名はコミュニティ・スクール導入に係る検討会委員

◆広報活動

学校支援地域本部シンポジウム2017～取組10年目のありのまま～（8月22日開催）

- ・中川修一教育長講演
「コミュニティ・スクールの導入に向けて」
- ・コーディネータープレゼン①「繋がることで見えてくる！チーム板橋の学校支援」②「チーム板橋の学校支援事業10年目 これからの方向」
- ・全体会議テーマ「つなげていけば、何かが起きる」



（壇上トーク）1年目から10年目の各代表校の校長とコーディネーターがペアで勢揃い！



◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

- ・実施校会議（定例3回：①5月30日、②10月12日、③2月予定）
事務局からの事務説明、連絡事項、グループ討議による情報交換
- ・コーディネーターミーティング（①6月24日、②7月4日実施）
今年度のシンポジウムのテーマでもある「取組10年目の総ざらい」として、これまでの取組の成果や課題、今後の方向性等について、熟議形式により意見交換・発表
- ・「テーマ連携研修会」のサポート



地域コーディネーターの自主的なグループが、「テーマ」を設定し、関心のあるコーディネーターが集い、講義や情報交換を行う「テーマ連携研修会」について、会場確保、開催周知、資料準備の面でサポート ①7月10日「オリンピック・パラリンピック教育と学校支援」、②11月9日「他地区の学校支援の現状を知ろう！」、③1月予定「コミュニティ・スクール入門」

◆成果

年々、実施校が拡大し、コーディネーター人数の増加に伴い参加ボランティアの延べ人数も大幅に増加している。徐々に区全体に浸透してきた感がある。

延べボランティア数（実施校全体）

26年度31, 356人→27年度68, 221人→28年度82, 686人

◆課題・展望

発展途上の実施校が多く、活動内容に差がある。全体的に底上げするために、研修会の充実や地域団体等への理解の促進。特にビギナー校が多い中学校の活動の活性化。寺子屋（土曜日）、あいキッズ（放課後）等、他の学校地域連携事業との連携